

2020

国際女性デー

全道集会

3月8日

開場 12時45分 開演 13時30分
カナモトホール(札幌市民ホール)
札幌市中央区北1条西1丁目 TEL 011-252-3700

記念講演

ジャーナリズムの 危機を問う

～私が、女性記者としてできること～

東京新聞社会部記者 望月衣塑子 さん



ストップ!
改憲

つくろう!

憲法の輝く社会を

実現しよう!

原発ゼロの日本を

ひろげよう!

ジェンダー平等・平和・人権・
くらしを守る女性の共同を



主催

2020 国際女性デー全道集会実行委員会



札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館2階 TEL・FAX 011-241-0956 北海道平和婦人会内

[資料代]大人/1,000円 学生/500円 ■一時保育所あります(おやつ付き・無料)

望月衣塑子

もちづき・いそこ

東京新聞社会部記者



1975年、東京都生まれ。東京新聞社会部記者。慶應義塾大学法学部卒業後、東京・中日新聞に入社。千葉、神奈川、埼玉の各県警、東京地検特捜部などで事件を中心に取材する。2004年、日本歯科医師連盟のヤミ献金疑惑の一連の事実をスクープし、自民党と医療業界の利権構造を暴く。東京地裁・高裁での裁判を担当し、その後経済部記者、社会部遊軍記者として、防衛省の武器輸出、軍学共同などをテーマに取材。17年4月以降は、森友学園・加計学園問題の取材チームの一員となり、取材をしながら官房長官会見で質問し続けている。著書に『武器輸出と日本企業』（角川新書）、『武器輸出大国ニッポンでいいのか』（共著、あけび書房）、「THE 独裁者」（KKベストセラーズ）、「追及力」（光文社）、「権力と新聞の大問題」（集英社）。2017年に、平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞を受賞。二児の母。2019年度、「税を追う」取材チームでJCJ大賞受賞

望月衣塑子さんからの メッセージ

自民党が政権に復帰した2012年以降、安倍・菅官邸は新聞やテレビ、ネットメディアの幹部やベテラン記者たちとの会食を繰り返し、官邸への取り込みを進めた。安倍首相の最側近、萩生田光一議員が2014年12月、選挙報道について「公平公正中立な報道を」と報道各社に文書で要望した“萩生田文書”以降、メディアの委縮・自粛・忖度が加速している。官邸がメディアのコントロールを進める現在、市民や記者たちは何を武器にして、どう闘っていくのか。安倍政権下で解禁された武器輸出や、進められた米国製兵器の大量購入、沖縄本島や南西諸島で進むミサイル防衛の状況などを踏まえつつ、一緒に考えていきたいと思う。

国際女性デーってなあに？

INTERNATIONAL WOMEN'S DAY



国際婦人デー創始者の一人
クララ・ツェトキン

国際女性デーは、1908年アメリカの女性労働者がパンと参政権を求めて立ち上がり、デモ行進などを行ったのがはじまりです。1910年にコペンハーゲンで行われた国際社会主義婦人会で、ドイツのクララ・ツェトキンらが「女性の政治的自由と平等のためにたたかう」記念の日として提唱し、世界の女性の統一行動日として続けられてきました。

国連は、1975年（国際婦人年）の3月8日以来、この日を「国際女性デー」と定め、国連事務総長が女性の完全かつ平等な社会参加の環境を整備するよう、加盟国に対して呼びかける日となっています。

3月8日は、世界の女性たちが「パンと権利と平和」を求めて一斉に立ち上がる日です。アジア、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカなど多くの国々で貧困と暴力をなくし、戦争に反対し、平和の中で生きる権利を求めて女性たちが集います。

日本でも

1923年、婦人講演会として開催されたのが最初です。天皇制国家の弾圧で公然と集会を開けなくなっても自宅で集いを持ち、「女性デー」を守り続けました。

1947年には戦後初の「女性デー」が取り組まれ、1949年には日比谷野外音楽堂を埋め尽くしました。その後も「女性デー」は、時々の日本女性の切実な課題を掲げ、平等・発展・平和をめざす世界の女性運動と連帯して発展しています。

